

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 5 月 22 日(2025.5.22)

【公開番号】特開 2024-79457(P2024-79457A)
【公開日】令和 6 年 6 月 11 日(2024.6.11)
【年通号数】公開公報(特許)2024-107
【出願番号】特願 2022-192425(P2022-192425)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

10

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 5 月 14 日(2025.5.14)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

複数の電子部品が実装される複数の基板を備える遊技機であって、
前記複数の基板のうち特定基板の表基板面には、少なくとも表面実装電子部品が複数実装され、

前記表面実装電子部品は、前記特定基板の表基板面に表面実装される第 1 特定表面実装電子部品と、前記特定基板の表基板面に実装された状態で、前記第 1 特定表面実装電子部品よりも当該特定基板の表基板面の上方に配置される第 2 特定表面実装電子部品と、を有し、

前記第 2 特定表面実装電子部品は、前記表面実装電子部品でありながらも前記特定基板の表基板面に表面実装されることなしに当該第 2 特定表面実装電子部品の接続端子にリードの一端がハンダ付けされた特別挿入電子部品として、当該リードの他端を前記特定基板に形成されるスルーホールに挿入させて当該特定基板の表基板面に挿入実装されるものであり、

30

さらに前記特別挿入電子部品は、少なくとも前記第 2 特定表面実装電子部品の接続端子と当該接続端子にハンダ付けされる前記リードの一端とが樹脂で覆われており、

前記特別挿入電子部品は、前記第 1 特定表面実装電子部品との間にその他の電子部品を挟むことなしに配置されており、

前記リードは、2 か所以上の折り曲げ部を有していることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 7】

請求項 1 に係る発明によれば、
複数の電子部品が実装される複数の基板を備える遊技機であって、
前記複数の基板のうち特定基板の表基板面には、少なくとも表面実装電子部品が複数実装され、

50

前記表面実装電子部品は、前記特定基板の表基板面に表面実装される第 1 特定表面実装電子部品と、前記特定基板の表基板面に実装された状態で、前記第 1 特定表面実装電子部品よりも当該特定基板の表基板面の上方に配置される第 2 特定表面実装電子部品と、を有し、

前記第 2 特定表面実装電子部品は、前記表面実装電子部品でありながらも前記特定基板の表基板面に表面実装されることなしに当該第 2 特定表面実装電子部品の接続端子にリードの一端がハンダ付けされた特別挿入電子部品として、当該リードの他端を前記特定基板に形成されるスルーホールに挿入させて当該特定基板の表基板面に挿入実装されるものであり、

さらに前記特別挿入電子部品は、少なくとも前記第 2 特定表面実装電子部品の接続端子と当該接続端子にハンダ付けされる前記リードの一端とが樹脂で覆われており、

前記特別挿入電子部品は、前記第 1 特定表面実装電子部品との間にその他の電子部品を挟むことなしに配置されており、

前記リードは、2 か所以上の折り曲げ部を有していることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記発明によれば、特定基板の剛性を高めることができ、基板に実装されている電子部品の剥がれ落ちを抑制できる。（例えば、段落 [4 4 1 3] ~ 段落 [4 5 2 4] を参照）

10

20

30

40

50